

まつり会  
て  
ま  
大  
け  
お  
茶  
岡  
向  
全  
国  
静  
に

川根茶の魂がこもった  
「シンボルの標柱」を  
披露

川根本町茶業振興協議会  
「献茶式」

本格的な新茶シーズンを前に、川根茶業振興協議会（会長・杉山町長）は15日、フォーレなかかわね茶茗館を会場に「献茶式」を開催しました。先月号でも少しお伝えしたこの行事。

式典には町内の茶業関係者約70人が出席し、川根茶の発展と新茶シーズンの無事故を祈願しました。

合併後初となったこの式典では、元静岡県茶手揉保

お茶の輝きが、  
町の輝き、人の輝きに  
つながるように・・・

存会会長の中野幸逸さん（下長尾）が、「川根茶魂」と揮毫された、文字どおり魂のこもったシンボルの柱を杉山協議会会長と中野さんの手で除幕、関係者の前



披露された「川根茶魂」のシンボル

に披露されました。

また館外では、農林業センター（地名）で初摘みした新茶が、町茶手揉保存会のみなさんの手によって当日5時間もかけ丁寧仕上げられました。

この新茶は、杉山会長の手によって神前に奉納されました。

杉山会長は挨拶の中で、「全国お茶まつりに向けて、地域が一体となって取り組むべき年。長年の努力が実を結ぶよう、心を一つにして全国にPRしていきたい」とのべています。

揮毫・筆で書や画をかくこと、またはその書や画のこと

今年11月10日から11日に「全国お茶まつり静岡大会」が当町で開催されます。山間地での開催は県内初の試みとなる全国お茶まつり。この、町を上げての一大イベントに向けて、官民の粋を超えたさまざまな動きが加速しています。



手揉み保存会の方々が一生懸命、長い時間をかけて仕上げていました